所報　平成3年9月15日創刊　平成29年12月15日発行・毎月1回15日発行・No. 301
一般社団法人 協同総合研究所 ISSN 1344-7300

協同の發見

きょうどうのはっけん

第301号
2017.12

特集　「協同集会」が社会連帯運動となる —地域協同集会の記録—

◎ 大場 寛　　３つの協同集会開催にあたり
◎ 羽賀 睦
　成田 泰男　　2017いばらき協同集会 in 古河
◎ 島野 哲平　　東葛地域協同集会 in 流山
◎ 中岡 康市　　2017ちば協同集会 in とうそう
◎ 北川 裕士　　協同集会2017 in 文京
◎ 篠原 健太郎　　協同集会 in せたがや
◎ 成田 誠　　三多摩協同集会
◎ 向井 忍　　2017 協同集会 in 東海
◎ 野口 淳　　協同集会 in 福井 2017
◎ 津田 直則　　おおさか協同集会
◎ 横峯 真由美　　鹿児島大隅協同集会

■研究会報告
　田中 夏子　　イタリアにおける協同組合による事業再生～人々が「協同労働」を選択することの意味
■海外レポート
　島村 博　　起動措置と連合制度（1）
■会員だより
　千 恵蘭　　「原州協同社会経済ネットワーク」の取り組みを中心にみた協同組合運動
■書籍紹介
　上平 泰博　　『これからの日本、これからの教育』　前川 喜平／寺脇 研（ちくま新書）
■巻頭言
　岡村 信秀　　地域協同集会の意義と協同のネットワーク

一般社団法人 協同総合研究所
JAPAN INSTITUTE OF CO-OPERATIVE RESEARCH

題字／藤原 桂州

協同の發見

第301号 2017.12

特集　「協同集会」が社会連帯運動となる ―地域協同集会の記録―

目 次

巻頭言

地域協同集会の意義と協同のネットワーク …… 2
岡村 信秀（広島県生活協同組合連合会　会長理事/協同総研副理事長）

特集 「協同集会」が社会連帯運動となる ―地域協同集会の記録―

- 労協センター事業団東関東事業本部　**3つの協同集会開催にあたり** …… 9
  大場 寛（センター東関東事業本部　本部長）
- 2017いばらき協同集会 in 古河　**市民の“協同”の力で支え合いのまちづくりへ** …… 10
  羽賀 睦（センター東関東事業本部）、成田 泰男（センター東関東事業本部　古河地域福祉事業所）
- 東葛地域協同集会 in 流山 ～子ども食堂ってなぁに？ 食から始める居場所づくり　**子ども食堂を地域に広げる集会に** …… 14
  島野 哲平（センター事業団　東葛地域福祉事業所　所長）
- 2017ちば協同集会 in とうそう　**空白地での開催 ―市民がつながる地域づくり、ネットワークづくりを目指して―** …… 18
  中岡 康市（センター事業団　東関東事業本部　北総エリア）
- 協同集会2017 in 文京　**ともに生き、ともにはたらく地域づくり** …… 22
  北川 裕士（センター事業団　東京中央事業本部　事務局長）
- **協同集会 in せたがや**　協同組合の今日的役割と地域づくり～2020年における協同組合の可能性 …… 25
  篠原 健太郎（センター事業団　東京中央事業本部　事務局次長）
- **三多摩協同集会　誰もが共に生き・共に働く　地域共生社会づくりと協同労働の未来** …… 31
  成田 誠（センター事業団　東京三多摩・山梨事業本部　本部長）
- **協同の関係を生みながらつくりあげた2017協同集会 in 東海**　―2014年の集会と比較しながら― …… 35
  向井 忍（2017 協同集会 in 東海実行委員/地域と協同の研究センター　専務理事）
- **協同集会 in 福井2017**　福井発・協同で進める、働くことと地域づくり …… 41
  野口 淳（センター事業団　福井事業所）
- **おおさか協同集会　分断をこえるまちづくりのネットワーク** …… 46
  津田 直則（おおさか協同集会実行委員長/協同総研顧問）
- **鹿児島大隅協同集会を終えて**　明日を切り拓く、地域の未来と市民のくらし～私にできること～ …… 51
  横峯 真由美（センター事業団　大隅地域福祉事業所ゆらおう）

研究会報告

イタリアにおける協同組合による事業再生 ～人々が「協同労働」を選択することの意味 …… 58
田中 夏子（協同総研理事/協同組合研究/農園Vento e Terra（風と土）園主）

海外レポート

起動措置と連合制度（1） …… 86
島村 博（協同総研理事長/協同総研主任研究員）

会員だより

「原州協同社会経済ネットワーク」の取り組みを中心にみた協同組合運動 …… 94
千 恵蘭（佛教大学社会福祉学研究科博士後期課程）

書籍紹介

『これからの日本、これからの教育』　前川 喜平／寺脇 研（ちくま新書） …… 100
上平 泰博（協同総研理事）

労協連だより　高成田 健 …… 103
研究所だより　島村 博 …… 104

巻頭言

地域協同集会の意義と協同のネットワーク

岡村 信秀（広島県生活協同組合連合会 会長理事/協同総研副理事長）

来年、広島で全国協同集会が開催されて、20周年という節目の年を迎える。ここで改めて20年をふり返り、全国集会後に発展した地域協同集会と協同のネットワークについて検証する。

当時、私たちはワーカーズに対しほとんど知識がなかったため、準備の段階で戸惑いとワクワク感が入り混じり、あっという間に終了したというのが実感である。終わってみると「人と人との結びつき、すなわち“協同”こそが地域づくりの根幹だ」と再認識させられた集会であった。

そして、翌年の1999年からの３年間、毎年、ひろしま「地域と協同」集会が開催された。1999年の主たる収穫は、県内各地で協同の実践が多様に展開されており、生協や農協などの既存の協同組合の内部や周辺部に「生活支援（助け合い）活動」や「直売所」など当事者主体の小さな協同が誕生し、“協同”を醸成しているばかりではなく、生協や農協に好影響を与えているという発見であった。

３年間の活動交流で到達した結論は、「協同組合は、人と人との協同的な結びつきを維持しながら、効率的な事業組織を組み立てるという難問を常に突きつけられている。その難問の克服に向けては、協同組合は効率化によるシステマティックな大規模な組織に一元化するのではなく、協同を内部に組織化しうる事業組織として『小さな協同組合を無数に内部化』することが重要である。すなわち、大きな協同・協同組合の中に小さな協同・協同組合をつくるという『協同組合内小協同組合』の形成が課題だ」ということだ。

その後、県内では“協同労働”に対しての関心が高まってきた。2009年11月に開催された「協同集会 in 広島2009」では、ワーカーズの○△□（まる・さんかく・しかく）の高齢者福祉、NPO法人の障害者雇用の現場、生協しまねの「おたがいさま」、広島県世良高原の農業の６次産業化などの現状が報告された。そこでの発見は、報告団体の活動実体はまさに“協同労働”だということと、くらしのニーズや地域の課題が複雑・多様化する中、地域づくりは協同（労働）を軸としたネットワークが不可欠だということであった。そして2011年１月、ひろしま「協同労働」推

進ネットワーク（「協同」ネット）が発足し、翌2012年10月には「協同」ネット主催による「広島協同集会2012－地域・くらしまるごと協同」が開催された。来賓の松井広島市長からは「協同労働はまさに人間性の本質に根ざした労働であり、ディーセントワークの先取りではないか」とエールがおくられた。ちなみに、この集会は県内のすべての自治体が「後援団体」として応援してくれた。また、広島県協同組合連絡協議会（HJC、農協や生協など11団体）は組織として「協同」ネットに加入した。

その後、「協同」ネットは、映画「ワーカーズ」の上映、広島市「協同労働」プラットフォーム事業や自伐型林業の応援など多様な連帯活動を展開しているが、毎月１回の学習会「くらしのセミナー」の開催とそのあとの飲み会はとくに大切にしている。そして、来年、全国協同集会広島開催の20周年を迎えるにあたり、さらなる前進に向け協同集会の開催の声が聞こえてくる。県レベルでの協同のネットワークのさらなる前進（連帯）と地域レベルでの小さな協同の広がり（地域づくり）の新たな段階のはじまりである。

地域づくりは当事者主体による小さな協同づくりが大切だ。そして、その広がりと連続は、その周辺で、様々な協同組合や協同組織、中小企業者、行政などの多様な協同（労働）のネットワークの形成と小さな協同との連携が不可欠となってくる。協同のネットワークの意義はまさにここにある。そして、それらを検証し新たな段階へ前進させていくためにも地域協同集会は重要な意味をもつ。

そのような中、2017年11月には広島県労福協主催の研修会で講師にワーカーズが招へいされ、センター事業団中四国事業本部長とプラットフォーム事業の統括責任者の２人が講演した。また、2018年２月にはHJC主催の「協同組合学校」でもワーカーズに講演が依頼されている。このように県レベルにおいて、ワーカーズとHJC、労福協、NPO、行政などの多様な連帯が加速しはじめているが、その要となっているのが「協同」ネットだ。今後の課題は、小さな協同のさらなる広がりと新たな社会経済システムの形成への関与だ。

時代は、多様性や創造性を認め合い、共に生き、共に育ち、共に働き、人々の幸福感や夢と希望が感じ取れる社会経済システムの形成を求めている。その実現に向けては、全国各地で地域協同集会が開催され協同のネットワークが広がることが重要だ。次代への責務としてもうひと踏ん張りしなければならない。

協同総合研究所は、労働者、市民が自らの力で自律的に仕事と生活の豊かさを求める活動を支援するシンクタンクです。わが国にも「大量失業の時代」が到来する中で、労働者、市民が自主的に仕事おこしをする労働者協同組合（ワーカーズコープ）への注目が増しています。

研究所は、わが国唯一の「労働者協同組合」に関する専門研究機関です。

研究活動をネットワークし、蓄積された情報を資源として支援する「協同の發見」を会員のみなさまに毎月お届けいたします。